（別紙様式4）

令和8年 11月 1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
麻生外語観光&ブライダル専門学校	平成3年1月8日	石川 一仁	〒 812-0016 （住所） 福岡市博多区博多駅南1-14-17 （電話） 092-415-2293
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒 820-0018 （住所） 福岡県飯塚市芳雄町3-83 （電話） 0948-25-5999

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウエディング科	平成18(2006)年度	ー	平成25(2013)年度

学科又は専攻科の目的	ブライダル業界に必要な専門知識、資格、技能に加え、将来、業界人としてプロ意識をもち幅広く活躍できるマインドを備えた人材を育成する。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率 等）	主な教育内容：ブライダル業界で即戦力となるための幅広い知識と実践的なスキルを学ぶ。 取得可能な検定：ブライダルコーディネート技能検定3級、プランナー検定、サービス接遇検定、Word文書処理技能認定試験、Excel®表計算処理技能認定試験、文章検定

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位	46 単位	54 単位	6 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
80 人	83 人	0 人	0%	1 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	38	人
■就職希望者数 (D)	35	人
■就職者数 (E)	35	人
■地元就職者数 (F)	9	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	26	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	92	%
■進学者数	0	人

■その他
就職指導内容：学生との面談、面接練習の実施
未定0名、就職斡旋希望せず3名

（令和 7 年度卒業者に関する令和8年5月1日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和 7年度卒業生）

ブライダル業界、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ、株式会社BP、株式会社ニューアート

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://asojuku.ac.jp/aftc/bridal/

企業等と連携した実習等の実施状況

総単位数		62 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	5 単位
	うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位
	うち必修単位数	5 単位
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	5 単位
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位
	（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	5 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	4 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		4 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	4 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年6月18日　17:00～17:30／第2回　令和7年10月22日　15:30～16:30
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
小野　聡之	全国宴会支配人協議会　全国B.M.C.副会長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
有馬　大樹	株式会社八芳園エリアプロデュース警固 支配人	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
成重　あずさ	THE STRINGS HAKATA （ザ ストリングス 博多）	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
中村　直輝	麻生外語観光＆ブライダル専門学校 ブライダル・ウェディング科　副主任	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	ー
瀧口恵子	麻生外語観光＆ブライダル専門学校 ブライダル・ウェディング科　リーダー	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	ー
東まゆみ	麻生外語観光＆ブライダル専門学校 ブライダル・ウェディング科　教員	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	ー
森　わかな	麻生外語観光＆ブライダル専門学校 ブライダル・ウェディング科　教員	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	ー

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「ー」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
ホテル・ブライダル実習	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	企業連携により実施する。200時間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また、各ホテル及びブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ。	グランドハイアット東京パレスホテルインターコンチネンタル

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　ABC協会WEBセミナー『ブライダルSNSクリエイター』　　連携企業等：ABC協会

期間：　令和7年7月8日（火）　　対象：中村　直輝

内容　ウェディングコンテンツクリエイターについて学び現在のSNS運用のトレンドを学ぶ。

研修名：　ABC協会WEBセミナー2025年度ドレススタイリスト検定直前対策指導セミナー　　連携企業等：ABC協会

期間：　令和7年8月6日（水）　　対象：森わかな

内容　ドレススタイリスト検定の出題傾向と学習ポイントを学び学生の指導に活かす。

研修名：　パーソナルカラリスト検定結果フィードバック＆検定対策指導セミナー　　連携企業等：一般社団法人　日本カラリスト協会

期間：　令和7年8月28日（木）　　対象：東　まゆみ

内容　検定結果の振り返りと、合格に向けた対策・ポイントを学び今後の対策授業に活かす。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	教育とハラスメントの境界線～アカハラとカスハラを学ぶ	連携企業等：吉田総合法律事務所
期間：	令和7年8月20日（水）	対象：中村　直輝
内容	アカデミックハラスメントの定義や具体的な事例を通して、指導時に注意すべきポイントを学ぶ。あわせて、カスタマーハラスメントの実態や対処法について理解を深め、ハラスメントを未然に防ぐための対策について考える。	

研修名：	「学生指導に活かすコーチング実践」	連携企業等：組織デザイン・ラボ
期間：	令和7年8月6日（水）	対象：森わかな
内容	コーチングを取り入れ学生との面談の方法について学ぶ。	

研修名：	学内教員研修「アドラー心理学に学ぶ学生指導Ⅱ ～教員とストレス対処とレジリエンス(含)～」	連携企業等：ヒューマンギルド
期間：	令和7年8月27日（水）	対象：森わかな
内容	「良い人間関係を構築」すること・アドラー心理学と親和性の高い「レジリエンス(精神的回復)」について	

研修名：	（一財）職業教育・キャリア教育財団　中堅教職員研修会「能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）」	連携企業等：（一財)職業教育・キャリア教育財団
期間：	令和7年7月31日(木)～令和7年8月1日(金)	対象：森わかな
内容	学校の経営・新任指導力・能動的学修・リスクマネージメントについて	

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	パーソナルカラリスト検定結果フィードバック＆検定対策指導セミナー	連携企業等：一般社団法人　日本カラリスト協会
期間：	令和8年6月11日（木）	対象：東　まゆみ
内容	検定結果の振り返りと、合格に向けた対策・ポイント、テキスト改訂に伴うポイントを学ぶ。	

研修名：	イタリアの色彩について～色材の秘めたる物語	連携企業等：一般社団法人　日本カラリスト協会
期間：	令和8年7月1日（水）	対象：東　まゆみ
内容	イタリアの色彩について、色材の意味や使用される背景など色の歴史について学ぶ	

研修名：	ABC協会WEBセミナー2025年度ドレススタイリスト検定直前対策指導セミナー	連携企業等：一般社団法人　ABC協会
期間：	令和8年8月5日（水）	対象：森わかな
内容	ドレススタイリスト検定の出題傾向と学習ポイントを学び学生の指導に活かす。	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	人権に関わる『差別用語』・『不快に感じさせる表現』の理解	連携企業等：福岡県教育庁 教育振興部
期間：	令和8年８月 25 日（火）	対象：中村、東、瀧口、森
内容	近年、社会における人権意識や多様性への理解が高まる中、これまで日常的に使用されてきた言葉や表現の中にも、相手に不快感を与えたり、差別的な意味合いとして受け取られたりするものがある。本研修では、教育現場における適切な言葉遣いや配慮について理解を深めるとともに、高校で行われている人権教育や進路指導の現状についても学ぶ。	

研修名：	非認知能力の理解と授業・学生指導への活かし方	連携企業等：ALL HEROs 合同会社
期間：	令和8年 10 月 14 日（水）	対象：中村、東、瀧口、森
内容	学生の価値観や生活背景が多様化する中で、人間関係の構築力、主体性、やり抜く力、自己管理能力など、「非認知能力」を育成することが教育課題となっており、学習意欲の向上や社会人としての自立を支援するうえでの理解と実践方法を学ぶ。	

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

○学校関係者評価

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
(1)教育理念・目的・目標	
1 教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
(2)学校運営	
1 教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2 教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3 単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4 学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。)についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
(3)学生の受入れ、学生支援	
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2 自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けていない
3 多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
4 学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。 ※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

(4)教育実施組織・教員	
1 教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けていない
2 教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3 教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
(5)教育環境	
1 教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けていない
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2 安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3 施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
(6)教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1 中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けていない
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2 学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)。	同内容評価項目を設けている
3 学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4 社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けていない

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
藤嶋　千鶴	ホテルリゾート科　藤嶋　華菜 保護者	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	保護者等
成重　あずさ	2020年3月卒業	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	卒業生
浦川　美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	地域住民
大橋　智恵	ヒューリックホテルマネジメント株式会社　Assistant General Manager	令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年)	企業等委員
越智　史子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部マネジャー	令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年)	企業等委員
山根　武志	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部マネジャー	令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年)	企業等委員
井地　誠	福岡県立嘉穂東高等学校 校長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	高等学校関係者
小柳　芳隆	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー　事務局長	令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年)	有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	
公表URL	https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aftc/2026/hyoka.pdf		
公表時期	令和8年10月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	
公表URL	https://asojuku.ac.jp/aftc/		
公表時期	令和8年7月31日		

授業科目等の概要

	（商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科）令和８年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		ホテル概論	ホテルのしくみを知り、ホテルの中でのブライダルについて学ぶ。	1前	2	○			○			○	
2		○		ウエディングセレモニー論A	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ。	1前	2	○			○		○		
3		○		ウエディングプラン演習	結婚式の企画・提案や見積計算を通して、実践的なプランニング力を身につける。	1後	2		○		○		○		
4		○		ウエディングセレモニー論B	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ。	1後	2	○			○		○		
5		○		レストラン実務	レストラン部門のサービスについて実践形式で学ぶ。	1前	2		○		○			○	
6		○		ブライダル衣裳ＩA	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する。	1前	1		○		○		○		
7		○		ブライダル衣裳ＩB	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する。	1後	2		○		○		○		
8		○		宴会実務	宴会部門のサービスについて実践形式で学ぶ。	1後	2		○		○			○	
9		○		ブライダルフラワー	ブライダルの現場で必要なブーケ、装花の知識を習得する。	1後	2		○		○		○		

	（商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科）令和８年度															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
10		○		ブライダル接遇演習	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける。	1前	2		○		○		○		
11		○		パーソナルカラーＩＡ	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラーについての基礎を学ぶ。	1前	1	○			○		○		
12		○		パーソナルカラーＩＢ	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラーについての基礎を学ぶ。	1後	2	○			○		○		
13		○		ブライダルメイクＡ	ブライダル業界で働く上で必要な基本メイクを学ぶ。	1前	1		○		○			○	
14		○		ブライダルメイクＢ	ブライダルの簡単なヘアメイクがお客様にできるようになる技術を養う。	1後	2		○		○			○	
15		○		ブライダル産業演習	ブライダル施設の知識を深め、専門式場やチャペル見学によりブライダル業界についての知識を深める。	1前	1		○		○		○		
16		○		文章表現	文章検定４級を目指し、国語力を身に付ける。	1後	2	○			○			○	
17		○		SPIA	就職試験筆記対策として学ぶ。	1後	2	○			○		○		
18		○		SPIB	就職試験筆記対策として学ぶ。	1後	1	○			○		○		
19			○	Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す。	1後	3		○		○			○	

	（商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科）令和８年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
20		○		PowerPoint	お客様への提案や、チラシ、資料などを作成する力をつける。	1後	2		○		○		○		
21		○		ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能の修得を目指す。	1前	1		○		○			○	
22		○		キャリアデザインⅠA	ブライダル実習の準備、学生紹介シートの作成する。	1前	2		○		○		○		
23		○		キャリアデザインⅠB	自己分析、業界研究など就職のための準備をする。	1後	1		○		○		○		
24		○		GCBⅠ	感謝心と思いやりの教育。	1前	1	○			○		○		
25		○		就職実務	就職活動に向けての心構えや試験対策などを実施。	1後	2	○			○		○		
26	○			ホテル・ブライダル実習	ホテル及びブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う。	1前	5			○		○		○	○
27		○		ブライダル実習	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う。	1後	1			○		○		○	
28		○		国家試験対策	ブライダルコーディネート技能検定取得を目指す。	2後	3	○			○		○		
29		○		パーソナルカラーⅡ	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定3級の取得を目指す。	2前・後	4	○			○		○		

	（商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科）令和８年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
30		○		音響照明&司会演習（※Aプランナー専攻）	結婚式や披露宴を盛り上げるための演出に不可欠な要素としての音響・照明・司会についての基礎を学ぶ。	2前	2		○		○			○	
31		○		骨格診断(※Bドレスフラワー専攻)	骨格タイプに関する知識を学び、それぞれの骨格に合ったコーディネートを学び、検定合格を目指す。	2前	2	○			○		○		
32		○		ブライダルネイル(※Bドレスフラワー専攻)	ネイルの知識を学び、ブライダルにおけるネイルの技術を学ぶ。	2前	2		○		○			○	
33		○		レストランサービスA（※Cホテル専攻）	HRS検定の取得を目指し、筆記・実技の対策授業を行う。	2前	6	○			○		○		
34		○		プランナー検定対策A（※Aプランナー専攻）	国内外のブライダルに関する知識を学び、ブライダルプランナー検定2級取得を目指す。	2前	2	○			○			○	
35		○		プランナー検定対策B（※Aプランナー専攻）	国内外のブライダルに関する知識を学び、ブライダルプランナー検定3級取得を目指す。	2後	2	○			○			○	
36		○		ブライダル衣裳Ⅱ（※Bドレス・フラワー専攻）	ドレスやタキシード、和装についての知識を深めドレススタイリスト検定取得を目指す。	2後	2	○			○		○		
37		○		レストランサービスB（※Cホテル専攻）	HRS検定の取得を目指し、筆記・実技の対策授業を行う。	2後	2		○		○		○		
38		○		和装着付け（※Bドレス・フラワー専攻）	和装を自分にも相手にも着付ができる力を養う。	2前	2		○		○			○	
39		○		イベントプランニング	企画案をイベントとして実行できる力を養う。	2前	2		○		○		○		

	（商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科）令和８年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
40		○		ブライダルマーケティング	ブライダル市場の状況や、経営について学ぶ。	2後	2	○			○			○	
41		○		ブライダルフォト演習	ブライダル業界で必要な映像技法を学ぶ。	2前	1		○		○			○	
42		○		海外ウェディング概論	日本の海外ウエディングの歴史を学ぶと共に、現在の海外ウエディング事情を学ぶ。	2前	1	○			○			○	
43		○		模擬結婚式	模擬結婚式の企画・準備・運営を各専攻に分かれて進めていく。	2後	6		○		○	○	○		
44		○		コミニュケーションマナー	社会人基礎知識やコミニュケーションを取るうえで必要なマナーについて身につける。	2後	2	○			○		○		
45		○		SNSマーケティング	InstagramやTikTokなどのSNSの特性を理解し、ターゲット設定や効果的な情報発信、投稿内容の企画・制作について学ぶ。	2後	2		○		○			○	
46		○		ブライダルヘアアレンジ	結婚式での洋装及び和装でのヘアメイクを学ぶ。	2前	2		○		○			○	
47		○		一般教養	社会人として基本的な教養を身に付ける。	2前	2	○			○		○		
48			○	Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す。	2前	3		○		○			○	
49		○		手話	結婚式場の現場で案内、誘導ができるレベルを目指して学ぶ。	2後	2		○		○			○	

	（商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科）令和８年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
50		○		キャリアデザインⅡA	自己分析、業界研究など就職のための準備をする。	2前	1		○		○		○		
51		○		キャリアデザインⅡB	社会人になるにあたって、必要な知識を身につける。	2後	1		○		○	○	○		
52		○		GCBⅡ	「志」の大切さについて学び、学生各人の目標設定をおこなう。	2前	1	○			○		○		
合計					52 科目			106 単位							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・学則に定める修業年限以上在学していること ・必修科目と選択科目から学科毎に定められた単位数を修得していること ・必修科目の単位を修得しなければならない	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	・学科ごとに指定された必要な授業科目を履修する。 ・授業科目は、定めらた年次にそれぞれ履修しなければならない場合がある。 ・必修科目の単位は必ず修得しなければならない。 ・指定された履修年次に単位を修得できなかった必須科目は、原則として、次の学期または学年に再履修しなければならない。 ・選択必修科目のうち、※A（ウエディングプランナーコース）、※B（ドレスフラワーコース）または※C（ホテルウエディングコース）のいずれかを選択して履修すること。	１学期の授業期間	15 週